



ようこそ池田へ

ニューニウオムバット

国内で唯一、ウォンバットの繁殖に成功している日本一小さな動物園、五月山動物園。この“小さくとも世界に誇れる動物園”の人気者・ウォンバットファミリーに11月、新メンバーとして3歳のペアがオーストラリアからやって来ました。

問い合わせは公園課 (☎754・6275)

☆やって来た親善大使
奇跡?の子・さつき誕生

五月山動物園に初めてウォンバットがやって来たのは平成2年5月。姉妹都市提携25周年を記念して、オーストラリア・タスマニア州ローンセストン市から親善大使として「ワイン」「ワンダー」「ティア」が贈られました。ずんぐりとしたかわいらしい姿で、一躍動物園のスターに。

飼育下での繁殖は非常に困難であると考えられるウォンバット。日本初の繁殖は、ここ、池田で成功しました。同年、ワインとワンダーの間に「さつき」、さらに翌5年には「さくら」が誕生。日本初の繁殖が高く評価され同年、(社)日本動物園水族館協会の「繁殖賞」を受賞しました。

☆ティアよ、さくらよ
ありがとう

子宝に恵まれ、幸せな日々を送っていたウォンバットファミリーですが、やがて、悲しみに見舞われます。ティアが多臓器不全で亡くなったためです。15年12月21日、14歳でした。さらに、17年8月18日には、さくらも死



ウォンバット
時代とともに
アルバム

1993 1992 1990

●冷夏による米不足で、平成の米騒動に

●第2土曜日が休日となる、学校週5日制が始まる

●「国際花と緑の博覧会」が大阪で開催

わたしたちに

採用者には
図書券1万円分

かわいい名前を付けてね



性別 男の子
身長 70センチくらい
体重 16キログラムくらい
性格 やんちゃ

オーストラリアからやって来た、ニューウォンバットの名前を募集します。採用された方には1万円分、佳作(10人)には1,000円分の図書券を。また、応募者の中から抽選で30人にウォンバットのぬいぐるみ(4面参照)をプレゼントします。

申し込み=12月14日(金)までに住所、氏名、年齢、職業、電話番号と「ウォンバットの名前(男の子・女の子それぞれ)」を書いてはがき、ファクス、メールで公園課(〒563-8666=住所不要=、☎752-4949、✉koen@city.ikeda.osaka.jp)
※ウォンバットの名前、図書券・ぬいぐるみの当選者などは本誌2月号で発表。



性別 女の子
身長 70センチくらい
体重 13キログラムくらい
性格 かなりシャイ

11月1日の夜、池田にやって来たニューウォンバット。2日のお披露目式にはさくら幼稚園や五月丘保育所、五月山教会幼稚園の園児約140人も駆け付け、みんなで動物園の新しい仲間を歓迎。新メンバーの登場を待ちわびてか、ワインやワンダー、さつきも、この日は朝からどこかそわそわしていました。

3歳と若いカップルには、国内3例目の繁殖も期待されています。私たちのまち池田の人気者・ウォンバットファミリーの物語は今、新たな展開を迎えています。



隣の様子が気になる さつきちゃん

☆ようこそ池田へ
これからよろしく

ワイン、ワンダー、さつきも高齢となり、新しい仲間が待ち望まれる中、本市はローンセストン市にニューウォンバットの来池を依頼。絶滅の恐れがある野性動植物の国際的取り引きを規制する「ワシントン条約」に定められてはいないものの、オーストラリア国内の野生動物保護法で輸出が制限されているウォンバット。それだけに、今回の来池に至るまで、5年の歳月を要しました。

☆足掛け5年
みんな君たちを待っていた

亡、11歳でした。ワインとワンダーは、オーストラリアから一緒にやってきた仲間、そして愛娘を失ってしまいました。



2005 2003 1998

●「愛・地球博」が開催

●日本郵政公社が発足

●長野オリンピックが開催

祝 ウォンバット新メンバー加入



「さつきやまウォンバット物語」 & めいぐるみ 発売!!

11月2日のウォンバットお披露目に合わせ、絵本「さつきやまウォンバット物語」とウォンバットのぬいぐるみを発売。五月山公園売店などで販売していますので、動物園の帰り、お土産などにいかがですか。問い合わせは緑のセンター（☎752・7082）

★ウォンバットのぬいぐるみ

愛らしい瞳と優しい肌触りで、本物に劣らずかわいらしいぬいぐるみは、SサイズとMサイズの2種類。おなかの部分を押すと、「プピッ」と鳴く（本物のウォンバットの鳴き声ではありません）ところもポイントです。



★どこで手に入る?

★さつきやまウォンバット物語（税込み750円） 五月山公園売店、五月山体育館、池田城跡公園、緑のセンター、総合スポーツセンター、市内の書店
★ぬいぐるみ（S：750円、M：1200円。いずれも税込み） 五月山公園売店

★さつきやまウォンバット物語

「さつきやまウォンバット物語」は、平成2年にワインとワンダー、テイアが、どのようにして五月山動物園にやって来たのかを描いた絵本。倉田市長がフィクションを加えて話した原案をもとに、著者・川田敦子さんがまとめたものです。

著者・川田敦子さんに聞く ウォンバット物語の裏側

絵本の著者である、CGクリエイター・川田敦子さんに、物語完成にまつわるお話を伺いました。

物語を作るきっかけは？

最初に「こういう絵本を作りたい」という話が私のところに届いたのは2、3年前。倉田市長のアイデアがとても新鮮で面白く、すぐに「やってみよう」と思いました。事実がベースとなる物語なので、ストーリーの世界観を裏付けるための取材活動に大半を費やしました。

苦労した点は？

私は出身が神戸市のため、池田に関する知識がほとんどなく、五月山動物園やローンセストン市のこと、また、「ウォンバットを池田に」と頑張ったウォンバットの会のことなど、読み手をがっかりさせない素材集めが大変でした。

商店街で潜入取材を行ったとか？

喫茶店などに客として入り、お店の方に当時の池田をそれとなく聞いたりしました。商店が軒を連ねる長田区で育った私にとって、商店街に対する思いは特別なものがあります。ウォンバットの受け入れで、まちを活性化しようとした皆さんの思いに心打たれ、がぜん創作に熱が入りました。

どのような方にお薦めですか？

ウォンバットを軸に、いろんなストーリーが展開される物語です。「人と人とのつながり」も重要なテーマの一つだと思うので、ぜひ子どもたちに読んでもらいたいです。



作品を通して池田が大好きになったという川田さん。皆さん、絵本「さつきやまウォンバット物語」をよろしくお祈りします。

抽選で50人に さつきやまウォンバット物語 プレゼント

「五月山ウォンバットの会」が、絵本を50人にプレゼントします。

申し込み＝12月14日(金)までに住所、氏名、年齢、職業（学生は学校名・学年も）、電話番号と「ウォンバット絵本希望」と書いて、はがき、ファクス、メールで広報広聴課（〒563-8666＝住所不要＝、☎754・6202、☎753・2757、✉koho@city.ikeda.osaka.jp）※当選者は市ホームページなどで発表の上、絵本を郵送します。

